## 目次

巻頭言		
第23回放射線夏の学校開催記	東北大学大学院工学研究科	` ,
特集 「第23回放射線夏の学校(ご	1)」	
X線ホログラフィーによる添加元素	周辺の三次元原子イメージング	八方 直久 林 好一 細川 伸也
放射能の測定方法と放射能測定装置	で校正	···· 9(9) 佐藤 泰
アバランシェ・フォトダイオードに	よる X 線検出とその応用	· 13(13) 岸本俊二
	像検出器の試作 料研究所 杉山 誠、藤本 裕、戸塚 大輔、横田 有為 東北大学・未来科学技術共同研究センター	,、吉川彰
東北大学・	検出器による2次元高計数率検出器の開発 ・金属材料研究所 黒澤 俊介、横田 有為、柳田 健之 京都大学・理学研究科 谷上 幸次郎、窪 秀利 東京大学・宇宙線研究所	.、吉川 彰 J、谷森 達 関谷 洋之
株式会社トクヤマ	福田 健太郎、石津 澄人、河口 範明、中川 正則、	須山 敏尚
	-に関する実験的研究 京都大学大学院・工学研究科 藤井 孝明、 大学原子炉実験所 丸橋 晃、小野 公二、田中 浩基、	上石 達也
編集後記		· 41(41)

## 目次

巻頭言
原子力安全研究におけるパラドックスの打破 ····································
特集 「第23回放射線夏の学校(2)」
今こそ知ってほしい!放射線の基礎と安全の考え方 ~ICRP 勧告の記述を引用して~ 49(3) 藤田保健衛生大学 横山 須美東京大学 飯本 武志
分光学的アプローチによる放射線によるゲノム損傷と生体修復の研究 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
組織等価ファントム熱ルミネッセンス線量計への重粒子線照射による生成フラグメントの測定 … 61(15) 九州大学 大学院工学府 エネルギー量子工学専攻 新納 史朗、表 和歩、井原 博章 九州大学 大学院工学研究院 エネルギー量子工学部門 池田 伸夫 近畿大学 原子力研究所 若林 源一郎 首都大学東京 健康福祉学部 放射線学科 真正 浄光
特集 「広がる放射線・アイソトープの利用〜環境・医療・加速器・材料分析科学への展開〜」
京大炉ライナックにおける放射線利用の現状 ····································
新元素の化学 —気体充填型反跳核分離装置を用いた新展開—
放射線治療技術の過去、現在、未来 ····································
陽電子プローブマイクロアナライザーの開発と応用 ····································
放射線分科会ニュース
編集後記

巻頭	言
----	---

<b>否</b> 與言
東京電力福島第一原子力発電所事故に関連する放射線測定について93(1)
株式会社千代田テクノル 大洗研究所 柴田 徳思
特集1 放射線モニタリングの今昔
放射線モニタリングの今昔~個人モニタリング~ 95(3)
株式会社千代田テクノル 松本 進
電子式個人線量計の歩み109(17)
富士電機株式会社 布宮 智也、酒巻 剛、今井 稔、石倉 剛
放射線モニタリングの今昔~環境モニタリング測定器~117(25)
日立アロカメディカル株式会社神田博明
1957年から始まる気象研究所における環境放射能研究の歴史123(31)
気象研究所 青山 道夫、五十嵐 康人
八家門加州 日田 定八 並「風 為八
食品中の放射能測定法129(37)
国立医薬品食品衛生研究所蜂須賀・暁子
特集2 東京電力福島第一原子力発電所事故における放射線測定
航空機モニタリングによる放射性セシウムの汚染分布137(45)
原子力機構・福島技術本部 眞田 幸尚、近藤 敦也、杉田 武志、鳥居 建男
放射線分科会ニュース
編集後記

巻頭言
The Show Must Go On
京都入于八子所工子训九件 一种野和J
特集「福島原発事故から一年間を経て一放射線・放射能の測定から除染、そして復興へ一」
福島県内の学校における屋外プール水の除染149(
原子力機構・福島技術本部 三枝 糸
福島県川俣町における環境放射線調査と支援活動155(
近畿大学・原子力研究所 若林源一郎、山西弘城、芳原新也、稲垣昌代、伊藤哲夫、堀口哲皇
原子力安全研究協会 小島 済
放射線医学総合研究所 杉浦紳和
福島県川俣町・町長 古川道原
放射線モニタリング活動を通じた東北大における支援活動159(1:
東北大学・金属材料研究所 山村朝雄、白崎謙次、佐藤伊佐瀬
福島事故 〜モニタリングサービス事業者の観点から〜165(19
㈱千代田テクノル 牧 大介、佐藤典仁、大口裕之、小迫智昭、山本幸佳、竹内宣世
原著
Development of thermal neutron field with D-T neutron source aiming at in vivo and in vitro
experiments for BNCT ·······169(25)
Graduate School of Engineering, Osaka Universit M. Sakai, N. Fujimoto, I. Murata, K. Awaz
編集後記